

よっ葉だより

2021年
11月29日号
No.678

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860
群馬県 861
茨城県 862

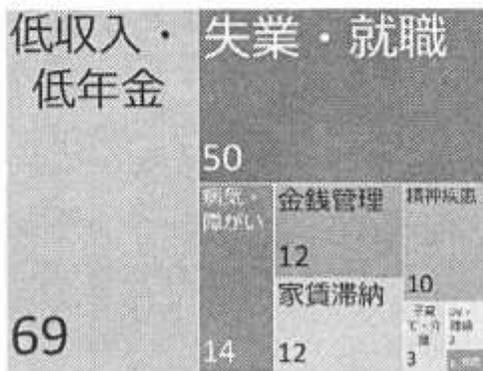


栃木の困窮者の実情 今月のSOS

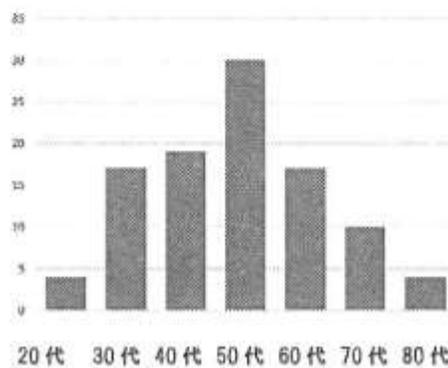
FB 相談世帯数 (食品提供回数)
8月 50 世帯 (支援 99 回)
9月 51 世帯 (支援 64 回)

※福祉施設等への食品提供も含む

FB 主な利用理由(2021/8-9)* 複数回答・総数 101 人



FB 年代別 相談者数 (2021/8-9)



80・50 問題が深刻です。

この2カ月間で、外国にルーツのある方は6世帯でした。

今月のSOSの一部

※ FB 利用者の状況を一部加工して掲載。

7月 50 世帯 (複数支援 99 回)

8/6 ● GR 女 80 代以上・宇都宮。夫婦とも認知症のため金銭管理ができず。年金までお金が無い。自宅はゴミ屋敷。息子は関わりを拒否。地域包括支援センターが毎日訪問している。⇒米 4kg 支援。

8/6 ● IE 女 40 代・県内。3人家族。コロナ禍の影響を受けてパートのシフトが激減。収入が安定しない。20歳の長男も働いてい

るが収入はあてにできない。前職の収入が多く児童扶養手当の額も低い。⇒米 15kg 食品 18kg、生理用品支援。

8/6 ● YT 女 30 代・宇都宮。日本に来て 20 年。日本に来て今の夫と知り合い結婚し子どもが 2 人いる。夫の収入で生活ができていたが、脳梗塞で働くことができなくなってしまった。私が働いて生活を維持しようと思ったが、幼稚園の仕事が夏休みになり出勤日数を減らされてしまった。減収となり生活保護を申請中である。⇒米 5kg 食品 5kg 支援。

8/7 ● AK 男 40 代・宇都宮。両親が離婚して父と生活をしてきた。父親が亡くなりその後一人暮らしをしている。精神状態が不安

定になり、生活保護費を一気に使って死のうと思ってお金を全部使ってしまった。しかし、死にきれずケースワーカーに FB 利用を勧められた。⇒食品 4kg 支援。

8/25 ● AS 男 30 代・宇都宮。ベトナム人。新型コロナ感染して、隔離状態になり外出が不可能になった。会社の寮で療養となったが、食品を買いに行くことができない。⇒米 3kg 食品 6kg 支援。

8/27 ● KM 男 30 代・宇都宮。10 年前までトラックの運転手で生活していた。トラックの荷台から転げ落ちて足に障害ができてから働けなくなって生活保護を受給している。ガス代を滞納してしまっでガスを止められる話になり、慌てて支払った。手持ちのお金が無くなり困窮。⇒米 3kg 食品 3kg 支援。

8/28 ● TU 女 30 代・宇都宮。高校生と 1 歳児がいるシングルマザー。生活費が嵩んで食費に回すお金がない。飲食店で接客をしていたが、コロナの影響でシフト・収入減。乳児を預けられる場所・人がないと復職も難しい。⇒米 10kg 食品 14kg 支援。

9月 51 世帯 (複数支援 64 回)

9/3 ● IT 男 50 代・宇都宮。先日父親が死亡し葬儀費用とお寺への諸費用で約 40 万円かかる。支払い上手く行かず。最近仕事に行けなかったため手持ち金無い。来週には仕事に入り、日給貰える。⇒食品 4kg 支援。

9/4 ● UO 男 30 代・宇都宮。妻と 2 人暮らし。生活保護を受けていたが、警備の仕事について生保から抜け出すことができた。しかし、仕事が減ってしまって収入が半分減ってしまった。⇒米 10kg 食品 7kg 支援。

FBでたすかりました

コロナ禍の中、きずなセットには本当に助けられました

菅原幸子さん (仮名: 43 歳 / 宇都宮)

飲食店で働いていますが、コロナ禍でシフトが減り、収入減。私が 1 日 1 食にして、食費を切り詰めなんとか生活していました。子ども達の食事は減らせません。

そんな中、きずなセットを知り、すがる思いで申し込みました。お米や備蓄品、子ども達へのお菓子など沢山届きました。子どもたちも久しぶりのお菓자에笑顔が。それから、1ヶ月に1度、きずなセットを申込みするようになり、子どもも「明日きずなセット届くかな?」と待っています。

コロナ禍の中、きずなセットには本当に助けられました。あれから少しずつ生活状況も変化し、シフトも以前に比べると入れるようになってきました。しかし、先の見えないコロナ禍の不安、子ども達の生活、仕事の不安…。まだまだ不安がつきませんが、前を向いて頑張りたいと思います。毎回、気持ちが込められた食品に感謝の気持ちでいっぱいです。



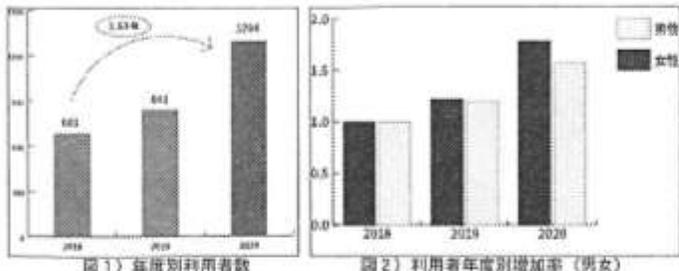
「助け合いでつなげる命があります」

フードバンクからみえる
女性の生活困窮②
■小澤勇治 (社会福祉士)

FB利用者増・20代女性3倍、40-50代女性2倍 コロナ禍で女性の困窮表面化。非正規雇用・子育て・8050問題・低年金

コロナ禍でジェンダー格差の影響 顕著に

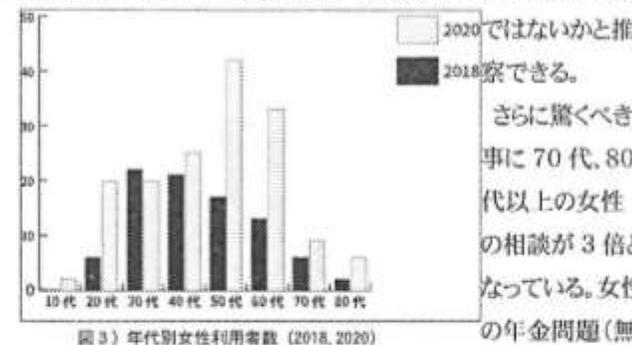
コロナ禍における2020年度にフードバンクを利用した人は、新型コロナウイルス感染症が広がる前の2018年度の利用者数に比べ、1.63倍(681人→1294人)と大幅に利用者が増えている(図1)。



男女別では、男性1.57倍(217人→340人)に対し1.78倍(87人→155人)と明らかに女性の利用が増えている(図2)。ジェンダー格差の影響がコロナ禍になって顕著になってきたといえよう。利用相談の男女比は男性世帯:女性世帯=7:3の割合でほぼほぼ変動していない。しかし年度全利用者における独居男性世帯の割合は、2019年度6割だったが、今年に入り5割台と大幅に減少してきた(19年度60.1%、20年度57.4%、21年9月末まで54.4%)。これまで多かったのは、失業などでダイレクトに貧困に結びつく独居男性世帯だった。利用者全体が増えているため一概には言えないが、女性の利用増加をみると、これまでとは違った困窮世帯の姿が表面化してきた。

若年女性「子育て」「非正規雇用」・高齢女性「低年金」「8050問題」
女性を年代別で2018年度と比較すると(図3)、20代は20年度3.2倍(6人→20人)と非常に増加した。40代、50代はそれぞれ約2倍となっている(40代:21人→42人、50代:17人→33人)。非正規雇用の比重が高く、教育費にお金が掛かる子

育て世代で、コロナ禍による労働・雇用条件の悪化が原因なの



さらに驚くべき事に70代、80代以上の女性の相談が3倍となっている。女性の年金問題(無年金や低年金)に加え、コロナ禍で高齢者にも可能なバイト・パート等が激減していることが大きな要因だろう。さらに「8050問題」が隠れていることが多い。高齢の母親と、引きこもりとなってしまっている勤労世代の子(息子、娘)がいる世帯の利用が増えてきた。話をすると、それぞれの苦しみを抱えながら同居している様子が見え隠れする。

働きにくいすべての人へ ユニバーサル就労

そのような困難の打開の道のひとつとして「ユニバーサル就労ネットワーク栃木」が発足した。働きたいのに働きにくいすべての人に寄り添い、職場に迎え入れる仕組みを目指している。制度的には、主に障害者を対象としてきた就労支援が定着してきているが、働きづらさも多様化してきた。年齢、障害の有無、理由を問わず、すべての人を対象とした「中間的就労」の仕組みづくりが始まった。FBを利用する人への生活再建の支援の一助としていきたいと考えている。

■ユニバーサル就労ネットワーク栃木
多くの「働きづらさを抱える人」の伴走支援・両者を適切に「つなぐ」ため、複数の企業・事業所とネットワークを作り、2021年10月に発足しました。
HPはこちら→



小澤勇治 ● 本会職員

<生活困窮者就労訓練事業>
生活困窮者自立支援法に定める自立相談支援機関のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受け入れ、その状況に応じた就労の機会を提供する事業。なお、民間団体の自主事業として位置づけられており、運営費等の行政からの補助はない。事業所ごとに宇都宮市長の認定を受けることが必要。宇都宮市では2事業所が認定されている。(宇都宮市HPなど・栃木県内は16事業所)

- 9/9 ● MO 男 30代・宇都宮。人材派遣会社の正社員。春からうつ病を発症し現在休職中。傷手申請したいが事業所の証明が受け取れず、申請もできていない。生活費捻出できず、貯蓄を切り崩して生活してきたが所持金2千円のみ。⇒食品4kg支援。
- 9/10 ● EY 女 50代・宇都宮。70代の夫と2人暮らし。外国にルーツがある。コロナ禍の影響で英語教室の講師の仕事が激減した。日本語での意思疎通が難しい。⇒米3kg食品5kg支援。
- 9/11 ● SW 女 40代・宇都宮。イラン出身で、昨年日本語学校に留学した。今年2月、本国にいる夫からの送金が無くなり困窮して

- いる。⇒米4kg食品5kg支援。
- 9/14 ● GR 男 60代・宇都宮。生活保護を受けて住んでいたアパートが事故物件と判明し、昨年飛び出してしまった。5か月間の路上生活も限界を感じ生活保護に戻りたい。⇒食品1kg支援。無料宿泊所紹介。
- 9/16 ● IE 女 60代・宇都宮。精神障害の息子が同居することになり、食費がかかり、生活のやりくりが出来なくなった。生保利用。ヘルパーが買い物や調理をしている。屋内は張って移動し、歩行は出来ない。⇒米3kg食品4kg支援。
- 9/17 ● YT 男 40代・宇都宮。母がガンブル依存、本人も統合失調症のため働けず、

- 通院先の看護師から「フードバンクの食料配布がある」と聞いた。⇒米3kg食品3kgじゃがいも1kg支援。
- 9/21 ● AK 男 50代・宇都宮。先日職場(夜勤専門の工場)で体調不良となる。翌日病院受診し新型コロナに感染と判明、自宅療養となる(2日に1回保健所の訪問あり)。2週間後は陰性になったが味覚障害、息切れ、節々の痛みが残る。体重は8kg減少。貯蓄切り崩し生活しており、手持ち金300円ほど。⇒米3kg食品8kg支援。

NPO法人フードバンクうつのみや発行「FB通信」①7号P3から。許可をいただいで転載しています。

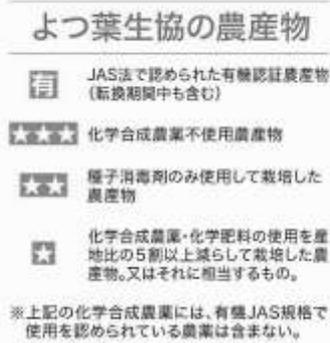
今日、明日の食糧を手にするのが困難な人や世帯が増えていきます。学業に支障が出ている学生も増えていきます。フードバンクにつながって支援を受け、何とか生き長らえている辛い現状が見えてきます。ここでご紹介しているのは、日本の実情のほんの一部です。コロナ禍の影響を受けて苦境にある企業が増えていき、働く意欲があってもすぐに働き口が見つかるわけでもありません。寒い冬を目前に控え、最前線で支援をする人たちの奮闘も続けられています。(理事長 三輪)

よつ葉生協「新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金」ご協力ありがとうございます
昨年9月から続けている助け合い募金へは、組合員からの協力のおかげで継続できています。ありがとうございます。
引き続き受け付けていますので、共同購入注文書などで申し込み口数をご記入ください。一口100円。
栃木県 860番 とちぎコミュニティ基金を通じて県下14団体へ分配。FBうつのみやには8~9月分として68,000円をお届けできました。
群馬県 861番 県を通じて主に医療従事者に対する支援や感染症拡大防止策などに活用して頂いています。
茨城県 862番 「誰かのために募金」いばらき未来基金の1つとして、支援を行っている市民活動で使われます。

クイズラリー、たくさんのご参加ありがとうございました！

よつ葉だより No.672、No.673 のふれあいまつり企画のクイズラリーに、たくさんのご応募（1週目 230名、2週目 255名）をいただき、どうもありがとうございました。「楽しく、勉強になりました」とのお声をいただきましたが、分担して問題をつくった理事にとっても勉強の機会となりました！ 問題が不適切な箇所もあり、不正解が多かった問題について、解説します。

1週目 Q16 町田さんのカットゴボウには★★のマークがついていますが、このマークの意味は生育中化学合成農薬不使用の農産物の意味である。 **答え〇**



流通している一般的な種子は、種子消毒剤（化学合成農薬）によって種子消毒がされているため、単純に「化学合成農薬不使用」とは謳えません。因みに★★★は種子消毒にも化学合成農薬は使用せず、お米などはお湯で消毒が行われています。★★★と有機認証マーク有のの違いは、決して安くはない金額と労力をかけて、厳格な有機認証を取得しているか否かです。

2週目 Q6 自然派 style マムのパン粉は、北海道産小麦、イースト、食塩のみで作られています。 **答え〇**

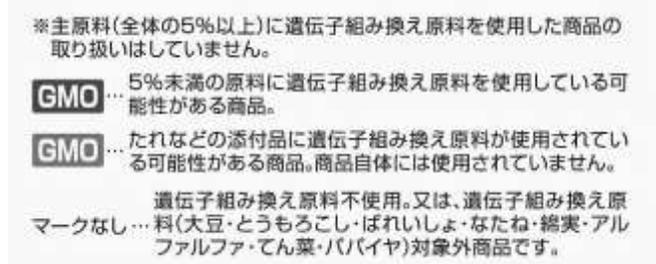
※イーストフードはイースト（パン酵母）のエサ、発酵を手助けする添加物の一括表示名です。「くらら」で扱うパンには使用されていません。

2週目 Q8 中津ミートの丹沢高原豚は、生後75日以降は遺伝子組み換えではないトウモロコシや大豆、さつまいもを食べて育ちます。 **答え〇**

この問題は、「生後75日以降は」の記載が11月2週のくららにはなく、問題が不適切でした。大変申し訳ありません。

「くらら」p11 左上には丹沢高原豚の餌について「肥育後以降は非遺伝子組み換えの～」と記載されていますが、これがつまり生後75日以降とのこと。年に数回、丹沢高原豚が特集された時に詳しい説明が掲載されます。（直近では9月4週 P29）

2週目 Q10 「くらら」のGMOマークは、5%未満の原料に遺伝子組み換え原料を使用している可能性がある食品に、付いている。



この問題もGMOマークには赤色と緑色がある為大不適切な問題でした。赤色マークは問題文の通りです。緑色のマークは添付のソースやタレに遺伝子組み換え原料が使用されている可能性があり、タレ・ソースの原材料に占める遺伝子組み換え原料の割合については不問です。

産直だより♪ **ピックアップ** 生産者さん さだかた **定方農園(群馬県太田市)**

2021年6月1週から8月まで、ごぼうで初登場した生産者さんです。よつ葉では登録野菜セット（大）に、山東菜なども出荷しています。6haという広大な土地で、ごぼう・ねぎ・小松菜・大型山東菜などを有機栽培で生産しています。ごぼうは土地を荒らし連作できない作物で、農薬不使用ではとてもむずかしいそうです。

①「農薬を使わない」

平成8年から約20年前から緑肥を活用した輪作の励行、ボカシ肥料を中心に最低限の堆肥を入れ安定した作物生産を実践し、イネ科とマメ科の双方を活用し土壌生物の活性化、土壌病害の抑制にも取り組んでいます



②「種を守る」

在来品種の自家採種・株分けによる増殖を図るとともに、種子研究会に参加して在来品種の情報収集や種子確保を行っています。そして絶滅寸前の伝統野菜も栽培しています。

③「地球温暖化防止や生物多様性保全などの取り組み」

雑草や病害虫の管理では、耕種的・物理的手法により防除を行っているそうです。また、株間・株元の除草は、シルバー人材を活用しています。

定方さんのごぼうは、来年6月からご案内します。

※山東菜とは・・・中国から伝わった結球しない白菜を若採りしたものです。おすすめは、お浸し。茹でたあとは水にさらさず温かいうちに食べるのがおすすめのようなので。（栽培できる量に限りがあるためくららには載りませんが、登録野菜セット（大）で来年2月までご案内予定です。



組合員さんの声

青山医師、ネオニコ中毒症についての報告をされていたのですね。コロナワクチン接種、しかもいつもりでしたが、逼迫している医療機関の様子を懸念し、医療従事者の負担を軽くする為に(協力できるのであればと思い)接種を行いました。青山医院でお願いしましたが、人口甘味料の毒性についての紙が見られていました。農薬や甘味料、保存料等、口に入れる物の毒性をよく知り、健康被害について考え、もっと安全な食品が多く流通する国になってほしいと思いました。
(前橋地区 T・Tさん)

よつ葉だよりNO.665「冷やし汁」の掲載ありがとうございます。義母の夏の味でしたが、痴呆になって作らなくなったので、再現できずに困っていました。来年の夏は作りたい。(佐野地区 R・Nさん)

青木恵美子さんの温活レシピいつも楽しみにしています。今回の秋のレシピもどれもおいしそう!作ってます。

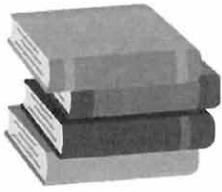
(ワクチンの記事について)記事掲載にあたって「よつ葉生協は賛成・反対の立場をとるものではありません」という主旨のことをきちんと日月記した上での掲載だったと記憶しています。個人的には、ワクチンを受ける受けないを考えていた時期だったので大変参考になりました。今後もこのような企画はただし書きを明記すれば問題はないと私は考えます。皆で様々な立場から多様な意見が言い合える風とおしの良い集まりでありたいですね。(野木地区 K・Sさん)

ネオニコ農薬の資料をありがとうございました。私達みんながもっともっと行政を動かさないとと思いました。安全を考えた農産物(みためよりも)私達が受け入れ、農業をやってほしいですね。よつ葉の考えが広がることを願うのみです。

✕  (宇都宮地区 加来伊津子さん)
たくさんのおたより、メッセージありがとうございます♡

本どころ よつ葉文庫の本の感想です。

No1272 知ってほしい食品添加物のこと
読みやすい量で、注意する添加物の一覧表なども掲載されていたのでわかりやすかったです。
(太田地区 M・Tさん)



No1241 知ってびっくり 子どもの脳に有害な化学物質のお話
なかなか有害な化学物質の事についてわかりやすく書かれている本がなく、このような本の貸し出しをしているよつ葉生協さん大変ありがたいと思います。皆さんにこの内容が伝わり少しでも理解していただければ、有害な化学物質を使用しない社会生活ができる世の中になることを希望します。
(伊勢崎地区 K・Kさん)

No1185 病と闘うジュース 境野米子著
私は医者から出された薬が合わなかったりアレルギー反応を起したりして薬には頼れないと思うようになりました。病と闘うジュースを読んで、飲む薬は生の野菜や果物で作れるのかもしれないと思いました。予防薬として、また治療薬としてチャレンジして作ってみたいと思います。
(足利地区 H・Yさん)

No1270 知っておきたい身近な電磁波被ばく 家庭栄養研究会編
この本を読んで、あふれる「電気製品・情報機器」の中に暮らす私たちが日常的に受ける「電磁波の影響を正しく知り、少しでも軽減できる知恵を学ぶ」ことがとても大切だと感じました。
私たちの身の回りの「電磁波」に関心を持ちつづけ、そのリスクを「減らす知恵や工夫」をできることからしていこうと考えています。編者「家庭栄養研究会」を初めて知り、大変興味を持ちました。著者の方々の作品も読んでみたいと思っています。
(真岡地区 稲葉治子さん)

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙でお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (11月3週分)
ご協力ありがとうございます。
組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	5,400
群馬コロナウイルス対策募金 (861番)	3,000
茨城誰かのために募金 (862番)	2,200
合計	10,600

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。
一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (11月3週分)
ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	4,700
震災孤児を支援する募金 (910番)	20,500
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	8,100
合計	33,300

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。
WEB注文の場合は、左側【企画商品】内の【復興支援募金】をクリック。
一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223
☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101
HP <http://yotsubacoop.jp/>
よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp


よつ葉生協
ホームページ


よつ葉生協
Facebook